

「将来の夢」

竹田 雄亮

六歳の時に急性リンパ性白血病になり、十四年の時間が経ちました。二十歳になった節目に、何か自分にしかできない、特技を身につけたいと思いました。

小さい頃から、物作りや細かい作業が好きで、大人になった今でもその気持ちは薄れていないので、クリエイターの仕事に興味を持ちました。

入院をしていた時も、ストレスが溜まった時や、体調が優れている日は、ベッドの横に置いてあった、おもちゃのブロックで、電車や飛行機をよく作っていました。毎週、水曜日になると回診があり、その直前までに毎回ブロックで、違うものに作り変えていました。回診は先生が大勢で、そろそろ部屋に入ってくるので若干、煩わしいなと感じていました。しかし、ブロックを作り変えることによって、それを見た先生が「おっ、今回もすごいね。」とか「カッコイイものを作ったね。」という、反応を聞くのが嬉しい事もありました。

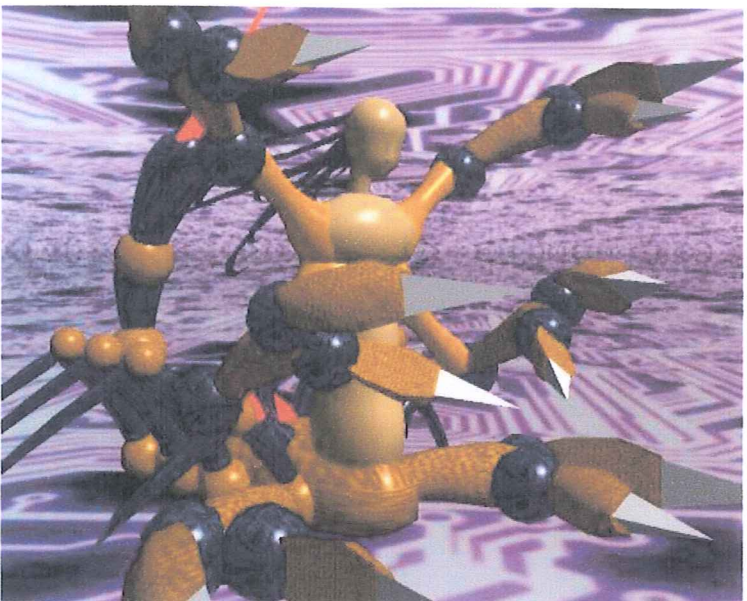
最近ではCGでモデリングをすることや、プラモデルにも興味を持ち、いつかは自分でデザインをしたロボットを、プラモデル化したい、という夢があります。

最近作った作品を紹介します。

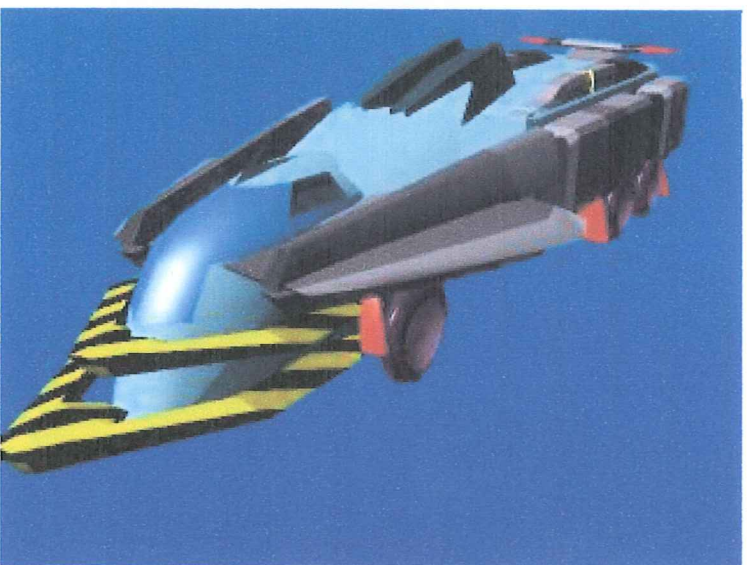
①の『サソリの怪物』みたいなものは、ある映画に登場した敵のモンスターを見て、それに影響されて作ったものです。

②の『乗り物』の方は、自分の好きなデコトラを意識して作りました。(デコトラとはデコレーショントラックの略です)。

①



②



まだまだプロのクリエイターになるには、ほど遠い道のりですが、自分の創造した作品で、誰かを喜ばせる事が出来ればいいなと思います。